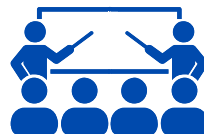


II期の研究開発課題 **文と理、知識と行動、学校と社会をつなぐ深い学びを実践する「つなぐ探究」プログラムの開発**

研究開発A

教科横断的な学び

科学的発想力を育成するために、全教科、全学年・全教員で取り組む「探究型クロスカリキュラム」と1年生全員が取り組む「鹿本STEAM」、問いを作る力を養う「探究のタネ『鹿本SEEDS』」を実施する。



【鹿本STEAM】

- I期：3教科以上で構成されたチームで、テーマに沿った教科横断的授業を実施
- II期：現在の体系化された内容の発展或いは再編し、パッケージ化、外部へ発信
(例)STEAM-A：体育×数学×物理×生物×情報

【探究型クロスカリキュラム】

- I期：教員が自由に他教科と組んで教科横断的授業を実施
- II期：教員がより高度で体系化された教科横断的授業を実施

NEW【探究のタネ「鹿本SEEDS」】

- II期：各教科、YSP、日常の中での疑問をWeb上に記録。自らの疑問を探究のタネ「鹿本SEEDS」として他の生徒と共有する。

つなぐ

研究開発B

探究活動（YSPアカデミア・YSP（山鹿サイエンスプログラム））

科学的探究力、科学的共創力を育成するために、知識、行動、意識をつなぎながら、探究活動を実施する。

NEW
YSP
アカデミア

探究活動を深化させる知識

調査実験・方法、研究手順・倫理、哲学・アート思考、探究の意義、ICTスキル・データの活用
YSPアカデミアで学習し、YSP I・II・IIIで実践・習得

探究活動を実社会とつなぐ意識

「社会的課題への意識」「社会参画（我が事）への意識」「将来の在り方生き方への意識」
YSP I・II・IIIの外部連携で習得

山鹿サイエンスプログラム

YSP
(課題研究)



課題研究を
促進する取組

- ① 課題研究を深め支える
理数探究スキル
SS英語探究 I・II・III / NEW SS情報探究
- ② 外部と連携する
熊本サイエンスコンソーシアム（KSC）
NEW 鹿本コンサルトシステム
- ③ 探究で楽しむ
NEW 知のクラスマッチ
探究DAY
- ④ 国際感覚を養う
海外研修
国際交流
- ⑤ 見識を広げる
東大研修
SSH講演会

NEW Coreコンピテンシー

探究活動を成功させる行動

日々の探究活動において、9つのコアコンピテンシーを身につける

科学的発想力



科学的探究力



科学的共創力



研究開発C

形成的評価と総括的評価

生徒の意欲を引き出す形成的評価と到達度を測定する総括的評価を実施する。

Coreコンピテンシーとつながったルーブリックの作成

【形成的評価】

研究計画書、研究成果報告書、研究計画ポスター、研究論文の各フェーズにて、提出時に形成的評価を面談形式で実施。
ルーブリックを活用し、生徒は自己評価、教員は仮評価を実施。
面談で両者の評価を比較。評価向上のためにどうしたらよいか話し合うことで、活動のレベルの向上を図る。

【総括的評価】

知識、探究スキル（認知能力）、課題研究の3つについて、以下の形で評価。
① 知識：用語の知識を客観テスト（YSPアセスメント）で評価。
② 探究スキル：認知能力を客観テスト（YSPアセスメント）で評価。
③ 課題研究：ルーブリックに沿って評価。

1
年次

理数探究基礎

(NEW YSPアカデミア, YSP I)
鹿本STEAM・理数探究スキル
SS英語探究 I・研究計画発表会

2
年次

理数探究（YSP II）

SS情報探究・SS英語探究 II
中間発表会・課題研究論文作成
外部発表会や外部コンペへの参加
海外修学旅行

3
年次

理数探究（YSP III）

SS英語探究 III
研究成果発表会・研究引継ぎ会
外部発表会や外部コンペへの参加
外部に研究を発信

新しい価値を創造する科学技術人材